

令和7年2月7日
島根労働局

島根労働局雇用環境・均等室における個人情報漏えい事案について

島根労働局（局長 ^{いわみ ひろふみ} 岩見 浩史）は、雇用環境・均等室（以下「雇均室」という。）において発生した個人情報の漏えい事案について、以下のとおり当該事実を確認の上、必要な措置を講じましたので、その概要をお知らせします。

1 事案の概要

雇均室において、補助金電子申請システムJ グランツ（以下「jGrants」という。）を用いた業務改善助成金に係る事務処理の際、A事業所あての交付決定通知書等をB事業所あてに雇均室の職員Cが誤って添付し送信したもの。

なお、B事業所の担当者に聞き取り確認を行った内容や本事案に係る他事業所からの通報が無いことから、二次被害の恐れはなしと判断した。

2 事案の経過

- (1) 令和6年4月25日に、審査担当者である職員Cが、jGrantsにおいて、B事業所から業務改善助成金交付申請書を受け付け、6月5日付け交付決定を通知した。
- (2) 同年8月5日に、jGrantsにおいて、B事業所の担当者が事業予定期日変更報告書を提出した。9月25日付けで変更手続きが完了し、同日、職員CがjGrantsの通知案内文の定型コメントである「提出のあった事業予定期日変更報告書について、変更の手続きが完了したことをお知らせします。」を送付した。
その際、同年9月11日付けで交付決定していたA事業所に係る交付決定通知書及び留意事項文書データを誤って添付していた。
- (3) 同年11月21日に、jGrantsにおいて、B事業所から実績報告書及び支給申請書の提出後、B事業所の担当者から「jGrants上に違う事業所の書類が添付されている。」との電話連絡があった。
- (4) 同日に、職員Cが、jGrantsの受付（履歴）状況を確認したところ、9月25日付けでB事業所に対し通知した内容に、A事業所に係る9月11日付けの交付決定通知書及び留意事項文書データを誤って添付していたことが判明した。
- (5) 同年11月22日に、雇均室において、同室の助成金主任が、jGrants上にあるB事業所あて送信したA事業所に係る添付文書データの削除処理を行った。
- (6) B事業所に対しては、雇均室の室長補佐（企画担当）から電話にて連絡を行い、担当者に経緯を説明の上、謝罪を行った。誤った添付文書データに関しては取込み・保存やプリントアウトはしておらず、また口外することもないとのことを確認した。また、事業所を訪問し事業主

に直接謝罪したい旨を申し出たところ、事業所内で検討した結果、不要との回答があった。

(7) A事業所に対しては、雇均室の室長補佐（企画担当）から電話にて連絡の上、同室雇用環境改善・均等推進監理官及び助成金主任が事業所を訪問し、事業主に直接謝罪を行い、了承を得た。

3 発生原因

jGrants での処理において、B事業所に係る「事業予定期日変更報告書」の受付、審査・室内決裁後に通知案内文を送信する際は、通常、定型コメントのみを通知するところ、職員Cの確認不足により、A事業所に係る令和6年9月11日付け交付決定通知書及び留意事項文書データを誤って添付し送信したものの。

4 再発防止策

(1) 雇均室（発生部署）の取組

従来、jGrants において、事業所あてに通知する際に文書データの添付を要する場合にはダブルチェックの上で送信している。しかし、本事案のように、通知案内文（定型コメント）のみで文書データの添付を要しない場合にあつては、審査担当者がダブルチェックを経ることなく送信操作を行っていた。

本事案の発生を踏まえ、事業所あてに通知する作業を行う際は、個人情報漏えいを防止する観点から、全件について送信操作時に送信先が決議済の申請者あてで間違いないか添付書類を含め、ダブルチェックを行うことを徹底する。このダブルチェックの際は、決議済申請情報と送信予定画面において、審査担当者と他の職員の2名により、目視・読み合わせにて確実に実施することとする。

(2) 島根労働局（総務部）の取組

①令和6年11月26日の拡大局議及び令和7年1月15日の局議にて総務部長から、令和7年1月10日の補佐会にて総務課総務課長補佐から、本事案の概要を説明するとともに、個人情報漏えいの防止の徹底について指示した。

②総務部長から令和7年1月28日付で局内全所属長に対し、個人情報漏えい防止の徹底について通知を発出し、本事案の概要を説明するとともに、局内の全職員が個人情報漏えいの防止について改めて意識を高め、基本動作の徹底について理解し、それらを確実に実践するよう周知・徹底した。

【担当】 島根労働局雇用環境・均等室 雇用環境改善・均等推進監理官 日高 徹 室長補佐 遠藤 充 (電話) 0852-20-7007
